



世界屈指のヴォーカル・グループVOCES8(ヴォーチェス・エイト)財団が主催する、オンライン・フェスティバルが8月1日(土)から始まります。

出演は、VOCES8のほか、I Fagiolini、Academy of Ancient Music、The Swingles、The Gesualdo Six、Apollo 5、The Sixteen、Stile Antico、Chanticleer。

視聴チケットは、KAJIMOTO(旧・梶本音楽事務所)が取り扱っています。価格は各回1,650円と映画を観る料金とほぼ同じでお手頃です。シーズンチケットは10,500円とさらにお得。詳しくはこちら↓のサイトをごらんください。

<http://www.kajimotomusic.com/jp/concert/k=796/>

ロンドンと東京の時差が8時間ありますので、ライブ配信を観られない人も多いかと思いますが、放送日から10月3日まで「オンデマンド」(録画)でも配信されます。

## じょうごに向かって歌ってください —歌うことは安全です、と宣言するために

(7月22日付ガーディアン電子版から 江川善裕)



医療用スクラブ(白衣)を着た人が、手術室で漏斗(じょうご)に向かって何かをしている写真がとても奇妙です。でもこれは、英国の耳鼻咽喉科医

のデラン・コストロ医師とブリストル大学のエアロゾル専門家のジョナサン・リード教授が行った、歌手と管楽器奏者が水滴とエアロゾルをどれくらい生成させるのかという新たな実験の様子の一コマ。

⇒ <https://t.co/KJIXITbate?amp=1>

◎3月に米国の合唱団で61人中52人が感染し2人が死亡した出来事があったので、多くの行政機関によって合唱や管楽器演奏は『より高いリスク』と見なされてきた。それでも、

歌うことの危険性について、専門家による査読(評価)済みのデータはない。

◎歌ったり演奏したりすることによって生成される水滴やエアロゾルのサイズと数が、話すことや咳などによって生成されるものとどのように比較されるかを見つけ出したい。

◎「歌うことは人々にとってとても重要です。だからこそ、この調査のデータが役に立つと考えている」とコストロ医師は言っている。

◎英国合唱指揮者協会のレスリー・イースト理事長もこの調査に期待しており、「英国には4万の合唱団がある。多くの人々、特に高齢者にとって、合唱団に所属することは、彼らの生活の中で最も重要なこと。合唱は地域社会を結びつけるものだ」

◎歌ったり、管楽器を演奏したりすることが、居酒屋でおしゃべりをしている人よりもエアロゾルが発生しにくいということが証明されれば、生演奏に関わる新たなガイドラインを作成することができる。」

などと書かれています。調査結果はまもなく発表されるとのこと。結果が待ち遠しいですね。

(注記: コストロ医師はテナー歌手を副業として演奏活動している方。リード教授もアマチュアのトランペット奏者とテナー合唱歌手です。この実験は英国政府の資金提供を受け行っているものです。)

【江川善裕プロフィール】フリーのサクソ奏者、全日本吹奏楽連盟事務局主事、全日本合唱連盟事務局次長を歴任。現在、国際合唱連合理事。クッキー会メンバー。

## 口に吸い付かないマスク用インナープラケット

歌うときにマスクが口に吸い付いて困ります。そこで、ポリエチレン製のプラケット(3枚900円)を試してみました。顔の造作、鼻の高さや口の大きさは人それぞれですから思うようにはフィットしないかも知れません。



歌っているうちにずれるのでホッチキスで固定したり、顎に当たる部分を切り落としてみたり、上下逆さにしたり工夫してみました。満足まではありませんが、取りあえず口に吸い

付かないだけ使い心地が良いかと思えます。指揮者の蓮沼善文さんもご愛用。尚、上下左右どのように使うかはご本人の自由です…(編集部)

